

Newsletter 2025

2024年度の新しい取り組み

昨年度、新たな取り組み、改革、学びの機会の充実などを実施いたしました。それらの一部ですが以下、学校内外にお知らせいたします。

1. 学校生活をより快適に
2. 学習意欲と関心の後押し
3. 多様な学びの機会
4. 今、私の力を何かに注ぐ

1. 学校生活をより快適に

■生徒ホールの充実 >居場所づくり

高校校舎にある生徒ホールに、おしゃれなソファ、テーブル、椅子、カウンターを入れました。これまで、ひたすら広いスペースでしたが、そこにカラフルな色のソファなどを入れ、



3年がかりで完成させました。毎年の卒業生および同窓会からの寄贈です。

勉強するもよし、友だちと談笑するもよし、クラブ活動の計画を練るもよし。

遠くに東京湾がのぞめる開放的で自由なスペースです。



■夏のポロシャツ導入



近年の夏の暑さはかなりなもの。そこで、夏の準制服の着用期間に、ブラウスのほかにポロシャツを導入しました。

色は薄い水色。さらりとした肌触りで速乾性があります。着た感じも、洗濯の乾き具合も好評です。どんとこい、暑い夏!!

■準制服の着用を10月末まで延長

夏の暑さ対策として、準制服の着用期間を、10月末までとしました。そこで雙葉祭も準制服が可能となりました。

熱気にあふれる雙葉祭も、快適です。



2. 学習意欲と関心の後押し

■放課後自習室の時間を延長



学校での自主的な学習時間を通常の17時30分から18時20分までとしました。「もっと学校で勉強したい」という生徒の皆さんの声を受けてのものです。対象は高校生ですが、かなりの生徒が残って勉強しています。

また中学生対象には、以前から行っている定期試験前の卒業生による学習サポートがあり、放課後には学校の各所で自主的に学習する姿が見られます。



■キャリアガイダンス

放課後に、“将来の自分”に向けて学ぶキャリアガイダンスを、6回開きました。毎回、50~80名が参加する人気の講座です。

- 6月 弁護士という生き方(弁護士3名)
- 7月 食育(医学部教授)
- 11月 国際機関での働き方(外務省職員)
- 12月 ことばを伝えるしごと(テレビディレクター)
- 1月 異常気象と気候変動について(気象予報士)
- 2月 社会における公認会計士の意義と役割(公認会計士)



3. 多様な学びの機会

各学年ごとに校外・校内において、さまざまな学びの機会をもちました。

■校外学習

- 中1 春 学校について知る、レクリエーション
秋 動物園・水族館バックヤードツアー
- 中2 春 自然と関わる、源流ハイキングなど
秋 農業体験
- 中3 秋 奈良・京都
- 高1 春 自分の内なる声に耳を傾ける(清里)
秋 大学キャンパスツアー
- 高2 秋 平和を考える、巡礼の旅(長崎)



■校内に卒業生の講師らをお招きして

昨年度も、授業やLHRで、卒業生を中心にさまざまな外部講師をお招きして貴重なお話をうかがいました。その一部をご紹介します。生徒のためにお越しいただきました講師の皆様、心より感謝申し上げます。

中1

マナー講座 (ホテル勤務)
砂の観察 (大学准教授)
実験で楽しむ宮沢賢治『銀河鉄道の夜』 (大学講師)

中2

SDGsカードゲーム (横浜市環境教育出前授業)
三浦半島の農業の方々、食彩ネットワーク 他
情報モラル講座

中3

横浜市社会福祉協議会の福祉講座
マナー講座 (航空会社勤務)
情報モラル講座



高1

高校で学ぶことの意味 (大学特命教授)
これから社会活動に一步踏み出すみんなに (JLMM)
いのちについて (産婦人科医師)
金融セミナー (信託銀行勤務)
情報モラル講座・情報マナー講座

高2

探究テーマの考え方、中間発表・最終発表に対する講評 (大学勤務の卒業生4名)
情報マナー講座

高3

先輩からのメッセージ～卒業生をお招きして～
・ケンブリッジ大学大学院生
・弁護士
・大学研究者
・アナウンサー
・国立がん研究センター職員 ほか
シスターからのメッセージ



■大学模擬授業 (高1・高2)

「豪雨に対して安全な都市空間を創るには？」
「大規模言語モデルのインパクトと課題」
「アフリカの最貧国マラウイは豊か？」
「ロシアの民族多様性とアイデンティティ」
「環境にやさしい高分子」



4. 今、私の力を何かに注ぐ

生徒たちの周囲への関心は広く、深いものです。それらが学校の活動に広がったものを、いくつかご紹介いたします。

■能登半島復興支援



2024年1月に起きた能登半島地震には、すぐに高校生が募金活動を開始しましたが、「募金だけでなく、何かもっと支援はできないか」という生徒の皆さんの声がありました。その気持ちを現地で活動するカトリック教会関連の方にお伝えしたところ、「何かあればお知らせします」のお答え。それから待つこと数カ月。「支援していただきたいことがあります、いかがでしょうか」。

それは輪島市内のカトリック幼稚園の「野菜畑の土」。さっそく、校内に呼びかけて支援させていただきました。支援金が予想外に集まったので、新しい「物置」の支援も。

そして、8月。同幼稚園をお訪ねしました。輪島カトリック教会の目の前にある同幼稚園には、見事なトウモロコシやカボチャ、サヤエンドウなどが育っていました。園児たちが、日々その成長を見て楽しんでくださっているとのこと。風に揺れる背の高いトウモロコシの枝葉が、夏の日差しに優しく揺れていました。

輪島市内、海岸部など被災した地の様子は、まだ復興の手が行き届くには時間がかかるようで、これからも支援の継続を感じた能登訪問でした。

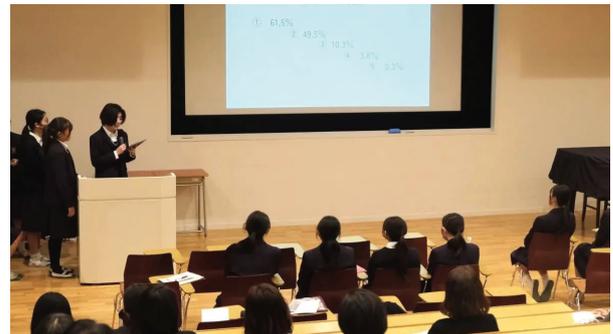
■高1 総合的な探求の時間

～NGOの方々と深める探求活動～

高1総合的な探求の時間では、さまざまNGOの方々とのかかわりを通して、世界や地域とのかかわりなどを探求し考えました。

以下がその活動です。毎年継続している「本校オリジナルの活動」と昨年度だけの「個々のアクション」がありました。

テーマは「人と世界、未来をつなぐチャレンジ」です！



横浜雙葉オリジナル活動

被災地とのかかわり（夏休みに南三陸を訪問ボランティア活動、能登半島のカトリック団体にも支援、ほか）

祖国を離れて暮らす人々とのかかわり（カトリックの難民支援団体を通して難民の方々とのかかわり）

祖国を離れて働く人々とのかかわり（カトリック教会を通して外国人船員の方々の支援・訪問）

様々な状況におかれた子どもたちとのかかわり（こども食堂）

日本の生活困窮者との関わり（寿町の支援など）

障がいをもって生きる人々との関わり（就労継続支援B型事業所「かるがもの家」・聖坂支援学校）

個々の社会課題とアクション

病児・家族のケア（神奈川県立医療センター）

持続可能な環境

外国の方々との関わり

持続可能な建築（おにぎりアクション）

遺棄される動物の保護

